



The service club to the YMCA

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ  
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23  
西宮 YMCA 内  
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年1月会報 第328号

主題・標語

国際会長(IP) ウィチャン・ブーンマパシジョン (タイ)

主題: "Mission with Faith"

「信念の有るミッション(使命・目的)」

アジア地域会長(AP) エドワード・ケータブリュー オング(シンガポール)

主題: "Through Love Serve"

「愛を持って奉仕をしよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)

主題: 「あなたならできる! きっとできる」

“You can do it! Yes, you can!”

標語: 「-生きる しなやか さわやか-」

- Live flexibly and refreshingly -

六甲部長 進藤 啓介(神戸)

主題: 「YMCAと共に」

《人を育み・地域に仕える》

宝塚クラブ会長 鯖尻 佳子

主題: 「楽しい例会で素敵な交流の輪を広げましょう!」

今月のテーマ: IBC(国際兄弟クラブ)、  
DBC(国内兄弟クラブ)

天におられるわたしたちの父よ  
(マタイ 6章9節 a)

2016年1月例会

日時: 2016年1月13日(土)18:30  
場所: 宝塚ホテル新館9F オーシエル  
会費: 会員 3,100円、会員外 3,500円

ドライバー 吉田 明 加藤 光信  
開会点鐘 鯖尻 佳子会長  
ワイズソング 全員  
聖書朗読 長尾 亘  
祈 禱 若林 成幸  
ゲスト・ビジター紹介  
会長・委員会報告  
会 食  
ゲスト

能楽観世流 吉井 基晴氏  
「能楽の魅力」

プログラム  
・1分間スピーチ 全員  
「2016年抱負」

誕生日のお祝い  
閉会点鐘 鯖尻 佳子会長

2015/16 役員	会長 鯖尻佳子 直前会長 杉谷和代 副会長 福田宏子、杉谷和代 書記 若林成幸 会計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚 六甲部メネット事業主査 福田 素子																																			
事業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田 宏子 地域奉仕・環境 多胡 葉子 EMC 長尾 亘 交 流 石田由美子 ファンド 武田寿子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘																																			
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸																																			
お誕生日 おめでとう!	水谷恭子(1月1日)堀江裕一(1月12日) 武田 建 (1月19日) 武田寿子 (1月25日)																																			
11 月 実 績	<table border="0"> <tr> <td>例会出席者数</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>在籍会員数</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>出席会員数</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ(内数)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>メネット</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>コメント0名、ゲスト・ビジター7名</td> <td></td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>BFポイント</td> <td>12月</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>19,540円</td> </tr> <tr> <td>にこにこBOX</td> <td>12月</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>37,300円</td> </tr> <tr> <td>ファンド(物品販売)</td> <td></td> <td>26,200円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>67,350円</td> </tr> <tr> <td>YMCA 同盟地球市民</td> <td></td> <td>56,907円</td> </tr> </table>	例会出席者数	26名	在籍会員数	21名	出席会員数	16名	出席率	76.1%	メイクアップ(内数)	0名	メネット	3名	コメント0名、ゲスト・ビジター7名		BFポイント	12月	0円		累計	19,540円	にこにこBOX	12月	0円		累計	37,300円	ファンド(物品販売)		26,200円		累計	67,350円	YMCA 同盟地球市民		56,907円
例会出席者数	26名																																			
在籍会員数	21名																																			
出席会員数	16名																																			
出席率	76.1%																																			
メイクアップ(内数)	0名																																			
メネット	3名																																			
コメント0名、ゲスト・ビジター7名																																				
BFポイント	12月	0円																																		
	累計	19,540円																																		
にこにこBOX	12月	0円																																		
	累計	37,300円																																		
ファンド(物品販売)		26,200円																																		
	累計	67,350円																																		
YMCA 同盟地球市民		56,907円																																		

## 3クラブ合同クリスマス例会



### 大阪なかのしまクラブ会長 鳥居翠

『女子会しましょう！』すべてはこの一言から始まりました。会長主査研修会で女性会長3人が同じテーブルになるという素敵な偶然。

最初は漠然としたものでしたが、各クラブのプログラム委員さんが実行員会を立ち上げ本当に盛大な一大パーティへと変貌いたしました。皆様には感謝してもしきれないくらいのお愛をいただきました。ありがとうございます。

### 大阪セントラルクラブ会長 澄川菊代

鯖尻会長から早速例会での全員写真を送っていただきました。なんと大勢の方が集い、コンサートを楽しみ、フラを踊り、お料理が最高で、ロマン溢れるホテルで3クラブの友好を深められたこと、とても嬉しく感じています。準備段階から合同例会まで、ホームグラウンドの宝塚クラブ皆様の温かいお気持ちに感謝しております。

これからもよろしく願いいたします。毎月の例会をあんな素敵なホテルで開かれておられるなんていいですねー。

## 12月第2例会報告

12月16日(水)18:30から宝塚市西公民館会議室にて12月第2例会が行われた。出席者は、鯖尻会長、長尾、堀江、多胡、加藤、青柳、武田、石田、吉田、若林各メソ及び今田メソットの12名。会長準備のアジェンダに沿って次の協議がなされた。

### 1. ブリテン1月号の編集

- ・市民クリスマス・クリスマス合同例会の実施報告、他クラブの例会参加報告、神戸街頭募金、YMCA ニュース等の寄稿分担を確認
- ・原稿締切 12月28日、発行 1月4日
- ・前月の例会で提案のあったブリテン送付先の見直しを行い、メールにて送付分と紙ベースでの郵送先の整理を行った。紙ベースの郵送分は当クラブのOB会友を中心に10名程となる。発送はブリテン担当による。

### 2. 市民クリスマスの反省及び会計速報(別記参照)

当日は午後からの小雨で出足が案じられたが300名程の観客と出演者増加によりプログラムはほとんど出尽くした。主な発言は次の通り。

- ・全般に好評であったが、窮屈なプログラム構成の中、特別出演団体の扱い方を再考。
  - ・募金は、雨天による集客減が影響し昨年比減となったが、募金箱のサイズ・個数・声掛けの仕方に工夫が必要。
  - ・出演者にも募金協力の要請があってもよい。
- なお、募金 108,273 円の送付先は次の通りとした。

○西日本区災害復興支援金 25,200 円

○神戸YMCA 災害復興支援募金 83,073 円

### 3. クリスマス合同例会の反省・会計報告

12月12日(土)18時から、大阪セントラル・大阪なかのしま・宝塚の3クラブによる合同例会を宝塚ホテルにて開催。参加者80名。

- ・プログラム、料理ともに大きな満足。大成功。

- ・個別のプログラムは各クラブが担当し円滑に進められたが、開会時の導入等に総合進行役があった方がよかった。
- ・高丸シスターズの奉仕活動に対し謝礼として各クラブから1万円支出を承認。
- ・礼拝時の献金 56,907円は、日本YMCA同盟地球市民育成プロジェクトへ送付した。
- ・オークション売上 42,600円は、3等分し14,200円を各クラブのファンドに配分した。

#### 4. 次期クラブ会長等の選出について

2016/17年度クラブ会長選出について、先月例会以降に鯖尻会長が行った折衝の経緯が報告され、新たな人選が必要になったこと、及び、登録期限も迫っていることから、本日の例会で協議・決定したい旨提案があった。結果、自薦候補なく、若林君を内定した。また、六甲部広報事業主査には、慣例により鯖尻会長を推挙することとした。

#### 5. 今後の例会運営について

- ・1月新年例会 今田メネットのお世話で、ゲストスピーカーに観世流能楽師 吉井基晴氏を迎え「能楽の魅力」と題し、お話と体験学習の機会を持つ。お礼10000円と交通費5000円を支出する。
- ・2月TOF例会 ゲストスピーカーとして予定の桑田君の都合が悪くなったため補欠を協議。芹野与幸氏、重松えみり氏の名があがり個別に折衝することになった。
- ・3月 元小林聖心女子学院副校長の藤松 薫氏。
- ・4月、5月の候補者を会長へ連絡する。

#### 6. ジャガイモ販売、収支報告

ジャガイモ販売 400箱は完売し、売上 875,800円、仕入費・諸経費 593,232円、収支差額 282,568円となった。皆様の協力に感謝。

#### 7. その他

- ・今田メネットから、夫君の闘病状況の長期化を予想、クラブ運営に支障ない方策を願う旨、話された。意向を受け、当年度は現状のままとし、次年度から功労会員とし、その他の役職は別途検討することとした。

- ・石田君から、BF ファンドに供される「使用済み切手」の送付方法について注意喚起がなされた。即ち、切手周囲に5mm幅の余白をつけて裁断、国内・国外切手に区分、とのこと。

#### ゲストプロフィール

吉井基晴（よしいもと はる）  
昭和40年兵庫県生まれ。  
東京芸術大学卒業。  
社団法人能楽協会会員。  
重要無形文化財総合指定保持者。  
初舞台は2歳、「鞍馬天狗」花見子役。  
平成26年度兵庫県芸術奨励賞受賞

書記 若林 成幸

### 会長報告

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年の12月は10日の市民クリスマス「キャロルを歌う夕べ」は例年に勝る感動がホールを包んでくれました。ポップン・リンガーズのミュージックベル、またピアノにドラムが加わり更なる感動を与えてくれたように思います。彼らの純粋で一生懸命な姿は私達



に生きる勇気と希望を与えてくれるように感じます。また12日には大阪なかのしま、大阪セントラル、宝塚クラブのクリスマス合同例会が開催されました。この三クラブは女性会長ということで華やかな中にクリスマスのお祝いに相応しく礼拝、高丸ホットシスタ

ーズのクリスマスソング、またオークションと楽しい時をみんなでシェアすることが出来ました。80名の参加者で只々有難く感謝の気持ちでいっぱいでした。この半年は会長としてただひたすらに歩んできましたが、この合同例会で年を締めることが出来幸せでした。これからの半年も少しでも成長出来るように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞこれからも宜しくお願い致します。今年も皆様にとって素晴らしい年になりますようにお祈りしています。



鯖尻 佳子

### 例会訪問

#### 大阪土佐堀クラブクリスマス例会

12月15日、毎日インテシオ「翔」を会場に開かれた土佐堀クラブクリスマス例会に宝塚クラブより鯖尻会長、多胡、石田、堀江の4名が参加しました。土佐堀のメンバーでもある奥田時夫中西部部長の司会で始まり、まず秋田正人メンの聖書朗読と短いメッセージ、続いて新入会員(大井孝和さん)の入会式がおこなわれました。大井さんも男性ですが、立会いの部長、クラブ会長をはじめ皆さん黒っぽい背広姿の男性陣ばかりで、何時も見慣れている我がクラブの風景といささかは違うものでした。ゲストスピ



ーカーは講談の旭堂南照師匠、この日に合わせたのか「忠臣蔵 大高源吾」の一席。南照師匠は奈良女子大文学部を卒業されて後、40半ばを過ぎて講談師の道にはいられたという異色の方、今年10月には初独演会も催されたとか。なかなかの熱演で感動しました。晚餐の後はおなじみの関学「マハロ」12名参加でフロア一杯の華やかさでした。前回のこの会での皆さんのカンパで整えられたというパウスカートのお披露目もかねていました。このクラブ恒例のファンドオークションは福島眞一メンによって進行し、私も日本酒1セットをゲットしました。盛り沢山の、賑やかで、楽しい例会でした。

堀江 裕一

#### 芦屋クラブクリスマス例会

芦屋クラブ 2015年クリスマス祝会に参加して2015年12月23日18時より例年のごとくJR芦屋駅前のホテル竹園で行われました。我らが宝塚クラブからは多胡、堀江、水谷の三名が参加、五十嵐政二会長の開会点鐘ではじまり、芦屋浜教会塚本牧師の奨励「心からの贈り物」を聴き、恒例の女性による讃美歌を多胡さんと一緒に。第二部はミュージックアワー、ヒルビリー・オーサムのカントリーの演奏を楽しみ、カントリーダンスもおまけ！！会食は多胡さんの食前感謝、乾杯は進藤啓介六甲部部長の発声でなごやかに始まりました。ゲストやクラブ紹介、アピールタイム、オークション(78,600円をYMCA建築募金へ)そして、カントリーダンスを楽しみ、最後には一つの輪になって聖夜を歌い五十嵐政二会長の閉会点鐘でお開きに成りました。雨の中、なごやかな気持ちで帰路につきました。

水谷 恭子

## クリスマスキャロルの夕べ

### キャロルの夕べ、司会担当として



宝塚ワイズメンズクラブに入会した翌年、2005年からこの形で始まったチャリティ市民クリスマスは11回になりました。私の司会担当も11回です。

6～7回目辺りから会場のみなさんと同じ空気を感じるようになりました。毎年ご来場くださる方が増えてきた事、地域に定着して来た事、そして何よりもミュージックベルのエンジェル、ポップンリンガーズの登場が大きな要因でしょう。

年々進化する澄み切ったベルの音、自分の音を一生懸命守っているピュアーな姿、それらが客席、舞台を1つにして大きな感動と鳴り止まない拍手になります。司会者として感動を伝える言葉が見つからず、涙が溢れます。

そして、9月から毎週練習を重ねて来た合唱団のエネルギー、アンサンブル・ダカーポ、ベル・コンチェルトのハーモニー、そして関学三田フラサークル・マハロの若

さのパワーなど、どれも个性的なのに交わると私達のクリスマスキャロルと言うブランドになっている感じがします。



こんなに感動するコンサートはない、と聞く事があります。私達が目指している事を充分理解して頂いている、と嬉しくなります。

そしてこれをプロデュースし、まとめている若林成幸メンに大きな感謝を持ちながら、今年も舞台、下手、司会台の前に立っていました。

石田 由美子

### はんしん自立の家のメンバーも ハレルヤコーラスで参加。

キャロルの夕べのプログラムは多彩。

毎年感動を与えてくれるポップンリンガーズの演奏、関学の女子のフラなどともう一組のグループは舞台上に上がっての演奏ができないので、客席の一番後ろから参加。

彼らは、はんしん自立の家で生活されているハンディがある方々。

車椅子のために舞台上に上がることができない。(会場であるベガホールがバリアフリーの対応が出来ていないため)聴きに行くだけでなく「私たちも最後のハレルヤコーラスは一緒に歌いたい」との一言から実現。

ボランティアで歌の指導、ピアノの伴奏、そしてコーラスの助っ人と5

人が月1回自立の家に出かけて入居者の方々と練習に励む。いろんなハンディがあるがそれぞれの受け止め方で声のでて歌になる。昨年に続いて二年目になる。当日は入居者全員が参加は出来ないでクジでベガホールに行けるメンバーを決める。今年も7人が参加。入居者の方々を代表して最後のハレルヤコーラスは前日になかなか歌えなくて拗ねていた方も思い切り歌えたようで「楽しかった！」と参加者のメンバーからの笑顔にキャロルの夕べのもう一つの嬉しい楽しみ方だ。

多胡 葉子



## クリスマスキャロルを歌う夕べ —裏方が最高に喜びを感じた時—

ハレルヤ大合唱が終わり2015年度のキャロルの夕べが終了。一斉に後ろのドアから出てこられる観客を見送るのは募金箱を持った関学フラティーマハログループ。彼女たちに交じって我々Y's 宝塚裏方チームは見送りラインに立った。感動と喜びを満面に浮かべたお客様が「ありがとう、ありがとう！楽しかったわ！良かったわ！」握手をする人、募金をする人、みんなが私たちの前を通り足早に



家路につかれたが、その後姿は「また来年もきってきますよ!」と言わんばかりだった。彼らの笑みは裏方に最高の喜びを与えてくれた。

杉谷 和代

## 国際協力街頭募金に参加して

12月13日(日)14時から神戸大丸前にて神戸YMCA恒例のワイズメンズクラブ六甲部、国際委員、国際ボランティア、外国に

ルーツを持つ奨学生、日本語学科学  
生、神戸



大学留学生とスタッフという多様なメンバー31名が二つのグループに分かれて募金活動を行いました。天候に恵まれ、ルミナリエ最後の日と混雑の中で、

奨学生や留学生が大きな声で呼びかけをしたのが印象的でした。彼らにとって第二言語である日本語で、街頭で大きな声を出すことはとても勇気のいることだったと思いますが、世界中の貧しい子供たちの教育のためにという趣旨を理解して、元気な声を出してくれました。募金額は6万4340円でしたが、YMCAの活動をアピールでき若い世代が国を超えてともに活動でき寒さも吹き飛びました。

武田 寿子

## 【今月のみ言葉】

キリスト教はユダヤ教とともに「祈りの宗教」と言われてきましたが、キリスト教における祈りの中でも特に重要視されているのが、主イエスが弟子たちにこう祈りなさいと教えられた「主の祈り」です。

この祈りは、「天におられるわたしたちの父よ(天にまします我らの父よ)」という神に対する呼びかけの言葉で始まっています。神を父と言ひ表すこと自体は当時のユダヤ社会においては珍しいことではなく、旧約聖書においてもしばしば神は父と表現されていますが、その一方で、神に直接「父よ」と呼びかけることは、十戒に「神の名をみだりに唱えてはならない」とあるように、不謹慎な行為と見なされていました。しかし主イエスは、父親に対するくだけた呼称である「アッパ」という言葉をもって神に語りかけ、さらに弟子たちにもそれに倣うように勧められたのです。

その意味でも、この「父よ」という呼びかけは、遠い存在である厳格な父へのかしこまった言い回しではなく、むしろ、身近な存在に対して親しみをもって語りかける言葉なのです。私たちはともすると神を畏れ敬うあまり、かえって神を遠い場所へと追いやってしまっているのかもしれませんが、しかし、人間と神を隔てていた壁は主イエスの執り成しによって取り除かれ、今や神は最も近い存在として私たちのすぐそばにおられるのです。このことを心に留めつつ、私たちも日々、親しみをもって神に語りかけることができればと思います。

嶺重 淑

## YMCA だより



### 新年明けましておめでとうございます。

神戸YMCAは設立1886年、今年で130年を迎えます。地域市民とともに、その時々<sup>の</sup>社会課題に対して実践をもって歩んできたことが長い歴史の理由であると感じています。この変化が大きい日本社会において求められる歩みを、過去を振り返りながらも、今を感じて歩いていく一年になるよう、今年も皆様のお支えよろしくお祈りいたします。

#### 1) 感謝「YMCAブランディング調査」

11月12日とつこいほどメールや例会でお願いしてきた全国のYMCAでいっせいにいった「YMCAブランディング調査」ですが、おかげさまで全国の目標であった10000件を超える10548件の回答を集めることができました。感謝いたします。この調査結果を元にこれからのYMCAの歩みを全国で検討を進めてまいります。何時の世にあっても社会に必要とされる存在であるよう歩んでまいります。

#### 2) 感謝「YMCA地球市民育成プロジェクト」支援

12月の3ワイズ合同クリスマス例会の礼拝での卓上献金ですが、日本YMCA同盟の行っている地球市民育成プロジェクト支援に¥56,907円を捧げさせていただきました。このプロジェクトは、世界規模の関心をもつ全国のユースに学び実践する機会を持つ中で、将来市民社会の一員として課題解決の一翼を担う人材育成を行うものです。今、プロジェクトでは「歴史認識と平和構築」や「子どもの貧困」の課題解決のための研究を行っています。またいろんな形で報告を行ってまいります。

#### 3) 募金感謝

神戸YMCAでは、災害や紛争、また地域の状況に虐げられている人びと、若者のために国際協力募金や震災復興支援のための募金をお願いしていますが、さる12月10日に行われた市民クリスマスの会場献金からは87,073円を東日本大震災復興支援として、また12月13日には六甲部合同で元町において街頭募金を実施していただき64,320円を国際協力募金に捧げていただきました。東日本大震災復興支援活動は神戸YMCA総体では2015年度をもって終了となりますが、震災リーダー会として避難家族のファミリープログラムや他団体との協働活動を続けていくようになります。忘れずにつながっていくことを大切に活動しているそうした奉仕者を覚えて支援を続けていただければ幸いです。

#### 4) 「YYフォーラム」開催のご案内

YMCAの活動を支えてくださっているワイズメン、ユースリーダー、様々なボランティアの方々が一同に集まり、「YMCA」の魅力について考えるときをもつ時を毎年新年に行っています。今年度は2月6日(土)13時から17時に日本キリスト教団神戸栄光教会において「リブランディング～神戸YMCAの宝探し」というテーマで実施企画中です。参加については1月の第一例会で承りますが、ぜひ多くの方の参加をお願いします。

#### 5) 「日本YMCA基本原則から学ぶYMCAの戦前・戦中・戦後」開催のご案内

今、社会でも政治でも、戦争放棄について様々な論議が行われていますが、YMCA自身は戦争をどのように体験したのか、そこからどのような歩みを学んだのか、ともに知り考える機会を企画しました。今だからこそ必要な学びがあります。参加お待ちしております

日時:2月17日(水)19:00～20:30

場所:神戸市青少年会館5階レクリエーションホール  
ゲスト:山本俊正さん(関西学院大学教授)

参加費無料、申込は神戸YMCA

(078-241-7204もしくは [houshi@kobeymca.org](mailto:houshi@kobeymca.org))  
まで

ジャガイモ会計報告			
収入		支出	
ジャガイモ売り上げ 400箱	875,800	ジャガイモ仕入れ 400箱	592,800
		雑費	432
		小計	593,232
		収益金	282,568
合計	875,800	合計	875,800

会費納入のお願い

2015/16年度後期分(1~6月)

金額 20,000円

(前期分未納の方は合わせてお願いします)

(振込みの場合)

銀行名 三菱東京UFJ・宝塚中山支店

口座番号 普通預金 4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ

以 上

(会計 吉田 明)